

HYDRO STAR

水素貯蔵材料フォーラム2011

燃料電池自動車の本格的な実用化、ひいては水素社会構築に向けたキーテクノロジーとしてブレイクスルーが切望されている水素貯蔵技術、中でも注目の集まる水素貯蔵材料の研究開発を推進するために、平成19年度から開始した「水素貯蔵材料先端基盤研究事業」と、平成20年度から開始した「水素製造・輸送・貯蔵システム等技術開発」のうち水素貯蔵材料の開発に関わるプロジェクトについて、研究報告を行うとともに、産業界からの要望を交えた産学官の有識者によるパネルディスカッションを行います。

日時 2011年3月1日(火) 13:00~17:00 (開場12:30)

会場 東京国際交流館
〒135-8630 東京都江東区青海2-2-1
(ゆりかもめ「船の科学館」下車)

プログラム (以下敬称略)

13:00-13:05 ご来賓挨拶
経済産業省 資源エネルギー庁 燃料電池推進室

第1部：講演 (13:05-15:05)

13:05-13:25 「水素技術関連のNEDO事業について」

新エネルギー・産業技術総合開発機構 新エネルギー部 細井敬

13:25-13:45 「水素貯蔵材料先端基盤研究事業の最新状況」

産業技術総合研究所 エネルギー技術研究部門 客員研究員 秋葉悦男

13:45-14:05 「燃料電池車の現状と挑戦 水素貯蔵技術への期待」

トヨタ自動車株式会社 広瀬雄彦

14:05-14:25 「水素供給インフラの現状と将来」

JX日鉱日石エネルギー株式会社 小堀良浩

14:25-14:45 「ハイブリッドタンクの開発と課題」

日本重化学工業株式会社 角掛繁

14:45-15:05 「水素貯蔵材料開発と中性子散乱」

高エネルギー加速器研究機構 大友季哉

第2部：パネルディスカッション(15:20-16:50)

水素貯蔵材料の開発における基礎研究の成果活用、車載システム・輸送技術開発における貯蔵材料開発の重要性、また、水素貯蔵システム研究開発の今後の方向性を討議します。

司会：産業技術総合研究所エネルギー技術研究部門 客員研究員 秋葉悦男

パネリスト(6名 五十音順)：

- 九州大学大学院客員教授 尾上清明
- JX日鉱日石エネルギー株式会社 小堀良浩
- 千代田化工建設株式会社 坂口順一
- サムテック株式会社 阪口善樹
- トヨタ自動車株式会社 広瀬雄彦
- 新エネルギー・産業技術総合開発機構 新エネルギー部 細井敬

16:50-16:55 閉会挨拶 新エネルギー・産業技術総合開発機構 新エネルギー部



参加費：無料

募集人数：約250名

申し込み方法

必要事項をご記入のうえ、以下のいずれかの方法でお申し込みください。

必要事項：①お名前 ②ご所属機関・部署名 ③E-mailアドレス ④電話番号

●ホームページ：<<http://unit.aist.go.jp/energy/hydro-star/hsforum2011.html>> の「参加お申込みフォーム」

●メールアドレス：<hydro-star@m.aist.go.jp>

申し込み締切日

2011年2月22日(火)

お問い合わせ

独立行政法人 産業技術総合研究所水素貯蔵材料先端基盤研究事業(HYDRO★STAR)推進室 TEL/FAX：029-861-4476